



静かなる脅威 CRE 感染症！

令和4年11月16日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和4年第45週分・11月7日～11月13日)
(第46週分は令和4年11月24日(木)発行予定です。)

《インフォメーション》

●カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の全国の報告数は、2018、19年には約2,300例に増加しましたが、2020、21年には約2,000例に減少しました(図、折れ線グラフ)。県内では、年間10~21例で推移しており(図、棒グラフ)、これまでに大きな院内感染事例の発生はありません。

薬剤耐性菌による感染症の1つであるCRE感染症は、カルバペネム系抗菌薬および広域β-ラクタム剤に耐性を示す大腸菌や肺炎桿菌などの腸内細菌科細菌による感染症の総称です。CREの中でも、カルバペネム分解酵素を産生する腸内細菌科細菌(CPE)は、β-ラクタム剤以外の抗菌薬にも耐性を示すことが多く、治療に抵抗します。また、菌種を越えて他の細菌に薬剤耐性を伝播させることがあります。海外では、地域によって異なるタイプのCPEが報告され、海外での感染が推定される症例が国内でも報告されています。最近では、海外渡航歴のない方からも海外由来のカルバペネム分解酵素をもつCPEが報告されています。

CRE感染症は、主に免疫機能の低下した患者、外科手術後の患者、抗菌薬を長期間使用している患者などに多く、65歳以上の成人が8割を占めています。呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位や軟部組織の感染症、カテーテルなどの医療器具関連血流感染症など、様々な感染症を起こし、しばしば院内感染の原因になります。また、無症状で腸管等に保菌されることもあります。健康な人ではCRE感染症を過度に心配する必要はありません。

CREなど薬剤耐性菌が発生する原因の一つは、抗菌薬の不適切な使用です。抗菌薬は、医師や薬剤師の指示に従い、適切に服用しましょう。



《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 4,794件 (11/8(火)~11/14(月)公表分)
- 二類感染症 結核 3件 (①第44週診断分: 70歳代、男性 ②80歳代、男性 ③90歳代、女性)
- 四類感染症 つつが虫病 1件 (70歳代、女性)
- 五類感染症 梅毒 1件 (第43週診断分: 30歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	4.00 (↑)	2.24
2位	RSウイルス感染症	1.21 (↑)	1.00
3位	手足口病	0.97 (↑)	0.66
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48 (↑)	0.21
5位	ヘルパンギーナ	0.28 (↑)	0.10
6位	水痘	0.17 (↑)	0.03



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第45週 令和4年11月7日～令和4年11月13日）

分類	疾患	今週報告分（第45週）						累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1		1	2	3	6	33	11	34	87
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2	3	4	1	11	21
四類感染症	E型肝炎							1	1				2
	つづが虫病					1	1	1	1		1		3
	レジオネラ症							4		10	5	16	35
五類感染症	アメーバ赤痢									1		3	4
	ウイルス性肝炎									3			3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									5	2	12	19
	急性脳炎									4			4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							3		5	1	10	19
	後天性免疫不全症候群									1		1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1		4	5
	侵襲性肺炎球菌感染症									4		5	9
	水痘（入院例）							2	1			3	6
	梅毒							2		9	4	25	40
	播種性クリプトコックス症											3	3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症											1	1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ									2			2
	RSウイルス感染症	2	1	12		20	35	45	89	406	79	438	1,057
		0.50	0.33	1.50		2.00	1.21						
	咽頭結膜熱	1					1	67	37	156	12	117	389
		0.25					0.03						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		10		3	14	36	10	135	23	212	416
		0.25		1.25		0.30	0.48						
	感染性胃腸炎	13	5	25	12	61	116	734	699	1,839	641	2,273	6,186
		3.25	1.67	3.13	3.00	6.10	4.00						
	水痘		2			3	5	3	11	52	3	43	112
			0.67			0.30	0.17						
	手足口病	1	9	9	2	7	28	81	209	592	90	508	1,480
		0.25	3.00	1.13	0.50	0.70	0.97						
	伝染性紅斑							2	1	5	1	7	16
	突発性発しん			1	1	2	4	25	27	132	35	109	328
				0.13	0.25	0.20	0.14						
	ヘルパンギーナ	3		3		2	8	102	113	87	4	70	376
	0.75		0.38		0.20	0.28							
流行性耳下腺炎							1	1	6	4	1	13	
流行性角結膜炎			1			1	10	5	11			26	
			0.50			0.14							
細菌性髄膜炎										1	1	2	
無菌性髄膜炎											1	1	
マイコプラズマ肺炎								1	2	1		4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1			1	
インフルエンザによる入院患者（※1）											1	1	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週(9月5日)～の集計です。

分類	疾患	11月8日(火)～11月14日(月)公表分						累積報告数(9月27日～) 医療機関の所在地ベース								
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計	
新型インフルエンザ等 感染症	新型コロナウイルス感染症	※2	510	248	1,380	661	1,666	329 ^{※3}	4,794	2,619	1,434	5,973	2,941	8,214	1,327 ^{※3}	22,508
		※2 県報道発表資料の公表日に基づく集計							※3 陽性者登録センター分							
		※4 県外、居住地非公表分							累積報告数(令和4年1月3日～9月26日) 感染者居住地ベース							
									11,056	9,713	36,512	13,093	51,566	390 ^{※4}	122,330	

○感染症発生動向調査報告状況（令和4年10月分）

		10月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			2		12	14		2	20		71	93
				0.67		3.00	1.40						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症				1	7	8		3	5	3	47	58
					1.00	1.75	0.80						
	尖圭コンジローマ			1			1			2	10	9	21
				0.33			0.10						
	淋菌感染症					1	1		1	1		19	21
						0.25	0.10						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	2	3	13	21	17	10	26	23	103	179
		1.00	2.00	2.00	3.00	13.00	4.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1		1	2	4		2		5	11
				1.00		1.00	0.40						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。